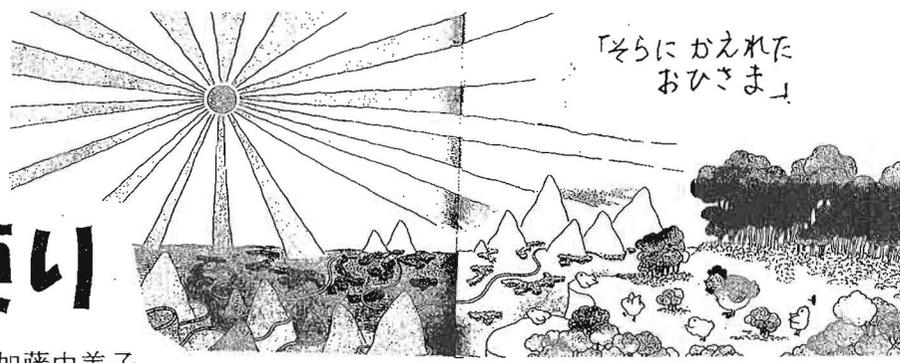


# 3月の園便り



23年 新潟青陵幼稚園 加藤由美子

久しぶりに白ばらさんの保育室に入ったら、ちょうど「あ〜ぶくたった、にえたった」というわらべ歌遊びをしていました。皆様も遊んだ記憶がおありのことと思います。一人が鬼役になって輪の中に入って『トントントン』と言い、皆が『なんのおと?』とかけあいをする遊びです。一人で輪の中に座って、輪になっている皆との応答をすることが、赤ばらさんの頃はなかなかできなくて、大勢が輪の中に入ってしまつて輪の人数のほうが多くなったり、僕が鬼!・・・とけんかになったりすることもあったのですが、でもいつの間にかできるようになっていたのですね。白ばらさんには「失礼ね!ずっと前からできていましたよ!」と怒られてしまいそうですが・・・Mちゃんが一人で鬼役になって、皆と応答してしっかりと役割を果たしていた姿に突然であつて、なんだか感激してしまいました。Mちゃんがキーワード「おぼけのおと〜」というとき、みんな、ワ〜と逃げ出しました。Mちゃんは、逃げた子どもたちを捕まえます。捕まったのはもちろんMちゃんの仲良しのT君! (フッフ) そして役割交代・・・つかまつたT君も“一人対みんな”との応答をしっかりとやっていました。しかも・・・何の音なのかという言葉が「〇〇ちゃんと〇〇ちゃんが遊んでいる音」とMちゃんとそっくりおんなじであつたのが可愛かつたのです・・・みんな一人でいろいろなことができるようになったんだな〜とつくづく思いました。これも“集団”という環境で友だちの真似をしたり、友だちや保育者に支えられたりしながら、次第に役割を果たすということができるようになっていくという集団の教育力です。でも集団の中は決して楽しいことだけではなく、子どもたちは気持ちのすれ違いから友だちとぶつかつて叩き合つたり、相手の気持ちを考えず、自分の気持ちだけで物事を進めていこうとしてしまつたり、勘違いをして相手の好意が受け取れなかったり、友だちに対して厳しい言い方をして、相手を怒らせてしまつたり、楽しさも厳しさもつらさも喜びもいろいろな体験をしてきました。保育者は、その一つひとつのできごとに、子どもたちがお互いの気持ちに気付けるように言葉を補いながら伝えてきました。(〜しちゃだめでしょ、〜しなさいでは育ちません) こうした経験が子どもたちにとっては、不可欠なのです。どうしたら友だちとうまくやれるか、相手の反応を見て気付いたり、叩いた後であ!しまった!と思つたり・・・こういうことを何回も何回も繰り返してわかつてくるのです。

きっと、ご家庭ではお母さんに話を聞いてもらう、抱っこしてもらう、・・・いろいろな形で甘え(依存)させてもらつて、癒していただいていたことなのでしょう。本当にあ

りがとうございます。幼児期の子どもが気持ちを切り替えるには、やはり大人の力が必要です。お母さんをはじめとしてご家族の皆さんの深い愛情で包まれ、受け止められ、支えられて、子どもたちは、この一年を過ごしてきたことと思います。幼児期は温かさで包まれて根っこが育つ時期です。どの子どもどの子も、温かく大切に守つて、しっかりと根っこを育てなければなりません。一つずつステップアップしていく嬉しい“春”がやってきますね、自分で育とうとする子どもたちを、時間をかけてゆっくりと見守っていきたいと思います。

## 3月の予定

日	曜	給食	降園時間	行	事
1	火	○	2:00		
2	水	○	2:00	新入園児さんのお楽しみ会があります。	
3	木	×	11:30	誕生会です。3月生まれさんの保護者の方、ご一緒にお祝いしましょう。	
4	金	○	2:00		
5	土	/	/	第4土曜日振替休日	
6	日	/	/		
7	月	○	2:00		
8	火	○	2:00		
9	水	○	2:00		
10	木	○	2:00		
11	金	○	2:00		
12	土	/	/		
13	日	/	/		
14	月	○	2:00		
15	火	○	2:00		
16	水	○	2:00		
17	木	○	2:00	青ばらさんおめでとうの会を行います。	
18	金	×	11:30	第3学期終業式を行います。	
19	土	/	/		
20	日			第43回修了式	
21	月	/	/	春分の日	
22	火	/	/	振替休日	
		/	/	春休みです。	